

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 所管事務の調査（報告）

(1) 健康ポイント事業に係る取組について

資料 健康ポイント事業について

参考資料 川崎市健康ポイント事業委託仕様書

令和5年1月26日

健康福祉局

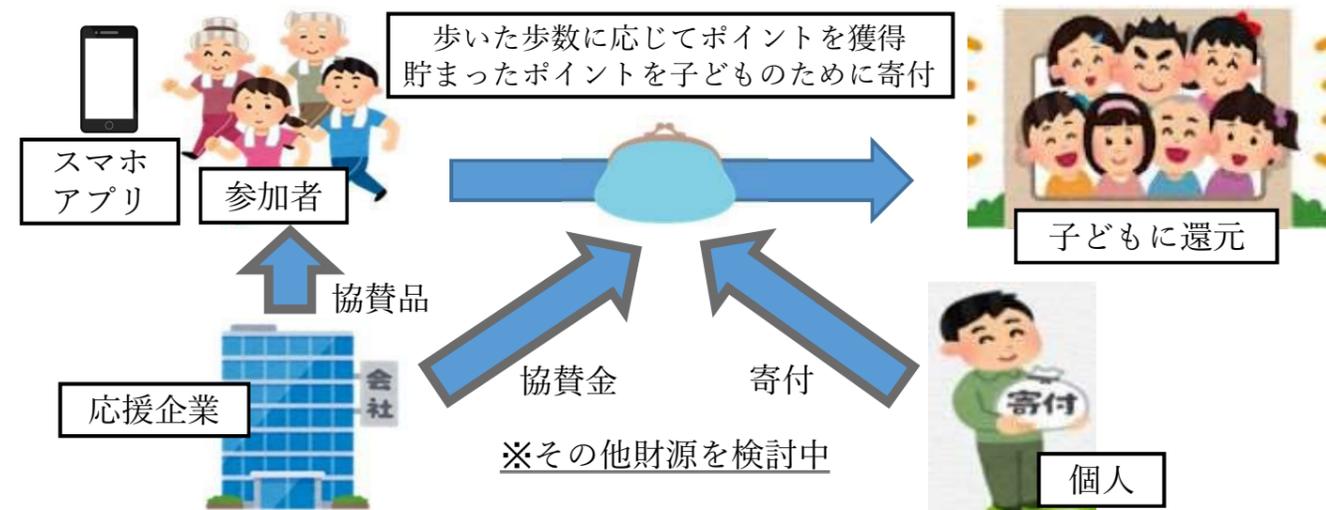
1 事業の目的

「川崎市健康増進計画—第2期かわさき健康づくり21—中間評価と今後の方向性」において、働き盛り世代を中心に運動に取り組む人が少ない傾向がみられ、その理由として「時間がないから」という割合が高くなっている。



本事業は、どのような環境においても無理なく継続して取り組みやすいウォーキングにより市民の健康意識を高め、健康行動の習慣化を促進し、その成果を「子ども」に還元する「健康循環社会」の構築を目指す。

2 事業スキーム



3 基本的事項

- ・対象は18歳以上とする。
- ・事業初年度は、寄付先を市立小学校とする。
- ・事業は年度単位で実施し、翌年度に学校ごとにポイント数に応じた寄付額を交付する。
- ・民間のスマートフォンアプリを利用する。
- ・1日で歩いた歩数に応じてポイントを獲得し、貯まったポイントをアプリ内で学校等に寄付できるようにする（1校あたりの上限を設定）。
- ・歩いた成果に付与するポイントは、参加者にとっては金銭的な価値はなく、寄付した後、学校に還元される際に初めて金銭的価値が生じるものとする。
- ・ポイントによって還元される寄付金は、子どもの健康や学校教育、地域還元等に結びつくような活用をする。

4 アプリについて

- ・アプリは、新たに開発するのではなく、既存のウォーキングアプリの改修やアプリ業者の持つパッケージを組み合わせたものを利用する。
- ・求める主な機能は以下のとおり
 - ①歩数計機能
 - ②参加者把握機能
 - ③参加者への通知機能
 - ④寄付ポイント付与機能
 - ⑤学校を選択して寄付する機能
 - ⑥ランキング機能
 - ⑦ウォーキングイベント開催機能
 - ⑧グループ作成機能
 - ⑨2次元コード読み取り機能

5 参加者の確保

1 学校

- ・学校の配布物等を通じて保護者へ参加を呼び掛ける。

2 企業

- ・3,000を超える企業が登録・認証している「かわさきSDGsパートナー」に対するSDGsの取組や、企業の健康経営を始めるきっかけとして呼び掛ける。

3 高齢者

- ・高齢者向けスマホ教室などにおいてアプリ登録会を開催する。
- ・いこい元気広場等、市の高齢者向けの事業の中で登録支援を行う。

4 個人へのインセンティブ

- ・学校への寄付ポイント数に応じた賞品を用意し、抽選で賞品を配布する。

5 ウォーキングイベント

- ・市民の参加を促すためのウォーキングイベントを実施する。
- ・企業ごとにチーム分けを行い、チーム内の平均歩数を競うような企業対抗戦を実施する。

6 スケジュール



※本事業は新総合計画の策定に合わせて検証を行うため、実施期間は令和7年度末までとする。
※かわさき健康チャレンジについては、健康ポイント事業の開始に伴い、今年度限りで終了とする。